

甲友会ナウ

甲友会の「今」をお届け 地域の皆さまへのお知らせ 広報誌

vol. 40
自由にお持ちください Feb. 2018



特集

理事長、両病院長が語ります!

甲友会のこれから

～30周年の感謝をこめて～

写真 西宮協立脳神経外科病院 救急外来

かんたんおいしい
健康レシピ
管理栄養士がおしえます!

カルシウム: 99 mg
ビタミンD: 0.5 μg



エネルギー
141 kcal

塩分
1.4 g

きのこたっぷり 和風マーボー

- [材料]
- 木綿豆腐.....75g(1丁)
 - 鶏ひき肉.....20g
 - しめじ.....20g
 - まいたけ.....20g
 - 干し椎茸.....2g
 - 長ねぎ.....20g
 - 青ねぎ.....3g
 - サラダ油.....1g(小さじ1/3)
 - にんにく.....1g
 - しょうが.....1g
 - 水.....100g
 - 減塩だしつゆ.....27g(大さじ1½)
 - 片栗粉.....2g
 - 糸とうがらし.....適量

- [作り方]
- 1 干し椎茸は水で戻しておく。
 - 2 鍋に油をひき、にんにく・しょうが・長ねぎを入れ火にかける。
 - 3 香味野菜の香りが出たら、干し椎茸・しめじ・まいたけ・鶏ひき肉を加え、鶏肉の色が変わるまで炒める。
 - 4 分量の水・木綿豆腐・減塩だしつゆを加え味を調える。片栗粉でとろみをつける。
 - 5 器に盛り、青ねぎ・糸とうがらしを飾る。

減塩だしつゆ1つで簡単に味付けができます。木綿豆腐は絹豆腐より3倍カルシウム量が多く含まれます。ビタミンDの豊富なきのここと合わせました!



レシピ監修 西宮協立脳神経外科病院 管理栄養士 若月 未来

甲友会グループ 株式会社メディス

介護・医療・リハビリが充実した
やすらぎの場を提供します

外部サービス利用型特定施設
介護付有料老人ホーム
やすらぎ

〒663-8245 西宮市津門呉羽町9番10号

まずは、ご相談ください。 ☎ 0120-4165-99

【受付 9:00～17:00】 ヨイロゴ

詳細な情報は → <http://k-medis.co.jp/> やすらぎ 検索

～いつも笑顔で安心と満足をお届けします～

つながり 訪問介護センター
つながり

〒663-8211 西宮市今津山中町6-32 キャッスル西甲子園201号

- ◆ サービス提供時間 / 8:00～20:00(月～日)
- ◆ 営業エリア / 西宮市(北部を除く)
- ◆ 受付時間 / 9:00～18:00(土・日・祝除く)

何でもお気軽にお電話ください。 ☎ 0798-38-0967

- 医療法人社団 甲友会 ～すべてはみんなの笑顔のために～
- 西宮協立脳神経外科病院
西宮市今津山中町 11-1 ☎ 0798-33-2211
 - 西宮協立訪問看護センター
西宮市今津山中町 6-32
☎ 0798-33-6233 / 0798-33-6251 (居宅介護支援事業所)
 - 西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ
西宮市津門呉羽町 9-10 ☎ 0798-33-3501
 - 西宮協立リハビリテーション病院
西宮市鷺林寺南町 2-13 ☎ 0798-75-3000
 - 西宮協立デイケアセンター ほほえみ
西宮市津門呉羽町 10-13 ☎ 0798-36-6780
 - 西宮市瓦木在宅療養相談支援センター
西宮市今津山中町 6-32 ☎ 0798-32-5322

法人理念
医療と福祉の連携により
質の高いサービスを提供し、
地域の人々の健康で
幸せな暮らしに貢献する。

甲友会ナウ

◎編集・発行責任者: 法人本部長 藤本 昌司
〒663-8245 西宮市津門呉羽町 10-13-3F
TEL: 0798-32-3251 (法人本部/広報担当)

ご意見・ご感想につきましては下記メールアドレスまでご連絡いただくか、
西宮協立脳神経外科病院・西宮協立リハビリテーション病院設置の「声の箱」へご投函ください。

ご意見・ご感想はメールにて koyukai-now@nk-hospital.or.jp

ホームページ随時更新中!
スマートフォンからも
ご覧いただけます。

<http://www.nk-hospital.or.jp/>

てい
dan 談



西宮協立リハビリテーション病院

院長 辻 雅夫
Tsuji Masao

医療法人社団 甲友会

理事長 大村 武久
Omura Takehisa

西宮協立脳神経外科病院

副理事長・院長 三宅 裕治
Miyake Hiroji



西宮協立脳神経外科病院

西宮協立
リハビリテーション病院

西宮協立訪問看護センター

西宮協立デイケアセンター
ほほえみ・第2ほほえみ

西宮市瓦木
在宅療養相談支援センター

昭和63年の開院当初を
振り返りいかがですか？

大村 昭和63年に西宮協立脳神経外科病院が開院した頃、西宮市には脳神経外科を標榜している施設は少なく、脳卒中・外傷など、重症患者さんの救急受け入れができる病院はほとんどありませんでした。また、軽症・中等症の患者さんを受け入れる救急病院も市の人口と比較すると少なく限られたものでした。救急受け入れは有床診療所が中心で、十分な検査・治療ができていなかったという状況です。当時の西宮市医師会幹部より事情を聞いていたこともあり、この状況を改善すべく「脳神経外科を中心とした救急医療にも対



西宮協立脳神経外科病院
開院(昭和63年)

応できる病院」を開院しました。これが西宮協立脳神経外科病院を開院した経緯です。

開院当時、西宮市の医療関係者や病院にはほとんど面識がなく、「まずは当院のことを知っていただきたい」と毎年80ヶ所の施設を私自身が訪問してまわりました。十分な医療提供のためには、地域のクリニックや病院と協力・連携することが重要と考えたからです。その後、10年間継続しますと、徐々に紹介が増え、少しずつ信頼していただけるようになりました。

今では、病院内の地域医療連携室が受け継ぎ、窓口となっています。地域の医療機関と連携していくことは、今後も非常に大切だと考えています。

特集

甲友会のこれから
～30周年の感謝をこめて。～

to the next 10 years

昭和63年、西宮市に開院した西宮協立脳神経外科病院。地域の皆様のご支援・ご協力をいただきながら、甲友会の歴史は始まりました。平成14年には西宮協立リハビリテーション病院が開院。今では西宮協立訪問看護センター、西宮協立デイケアセンターほほえみ・第2ほほえみ、在宅療養相談支援センター、法人本部が加わり、地域の医療・福祉の貢献に努めております。そして平成30年4月、甲友会は開院から30周年を迎えます。本特集では、「甲友会のこれから」に対する思いを理事長と両院長が語ります。

平成14年、西宮協立リハビリテーション病院開院

大村 リハビリテーションについては、西宮協立脳神経外科病院の開院当初より重視しており、発病当初の急性期の段階から始めていました。急性期の次には社会復帰・在宅復帰を目指す回復期になります。入院でのリハビリを必要とする回復期の患者さんに対し、我々や患者さんが求めるより質の高いリハビリを提供すべく、平成14年4月1日に西宮協立リハビリテーション病院を開院しました。

この当時はちょうど、回復期リハビリという制度ができたタイミングでした。新制度のもと回復期リハビリ病棟を二から作り上げていくことは大変でしたが、試行錯誤しながら乗り越えたからこそ、「急性期から回復期、



西宮協立リハビリテーション病院
開院(平成14年)

そして在宅へ」という現在の一貫した法人内の連携体制を整えることができました。

30周年を迎えて
3名のそれぞれの思い

辻 昭和63年開院時の内覧会に参加したのが甲友会との出会いです。脳卒中救急を中心とした救急医療を通じて「地域医療に貢献する」という大村理事長の熱き思いが詰まった病院が、ついにこの阪神西宮地域にやってきたという実感を持ちました。当時の私は大学院生で、病院当直などのお手伝いをしていましたが、毎日(毎夜)せきを切ったような勢いで搬入される数十件の救急対応に奔走していたように記憶しています。当時より脳卒中救急に対する情熱はすばらしく、大学病院でも見たことのない画像診断装置、手術機器、麻酔器などがそろっており、脳外科医としてある種の憧れの念を抱いていました。平成13年には研修医時代から指導してくださった三宅先生が赴任され、さらに平成14年に院長に就任されたことは私のみならず甲友会全体にとって大変心強い出来事でした。



ロボットを使ったリハビリテーション

歩くことのリハビリをサポートするリハビリテーション最新機器「ウェルウォーク WW-1000」（トヨタ自動車株式会社製品）が導入されました。導入事例としては、兵庫県内で初となる先進的な機器です。今回は、西宮協立リハビリテーション病院の勝谷医師にロボットを使ったリハビリテーションについて聞いてみました。



西宮協立リハビリテーション病院
リハビリテーション科 副部長
医師 勝谷 将史

ドクターに 聞いてみよう。

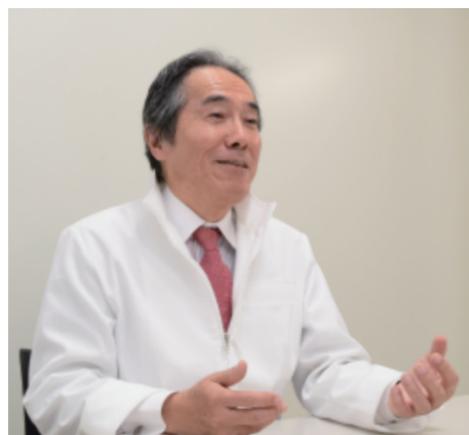
三宅 私が赴任時、既に当院は「脳外科なら協立へ」と名前が通っており、スタッフも皆若くてきびきと仕事をこなしてくれ、非常に恵まれた環境でした。同じ脳外科医の辻先生も非常に手術が上手で、2人で手術に入ると普通のクリッピング術は2時間もかからない程でした。翌平成14年には当院の院長を拝命いたしました。院長教育を受けたこともなく、責任の重さにたじろぎましたが、職員の協力があって、何とか今日までこぎ着けました。この間に成し得たことは、断らない救急をスローガンに、就任当時2000台/年の救急搬入を4000台/年に倍増したこと、学術面の充実（現在ではコ・メディカルから英文の論文が出るまでになった）、頭蓋変形外来の開設などが挙げられます。

大村 平成30年4月1日で甲友会は30周年を迎えます。地域の皆さまや関係医療機関のご支援・ご協力には感謝申し上げます。開院当初の目的や、「医療と福祉の連携により質の高いサービスを提供し、地域の人々の健康で幸せな暮らしに貢献する」という法人の理念は全くブレることなくここまで実績を積み重ねることができました。我々はこれからも設

立時の目的・理念を忘れず、地域になくはない法人へとさらに進化していきたいと考えています。

これからの甲友会、 これからの10年について

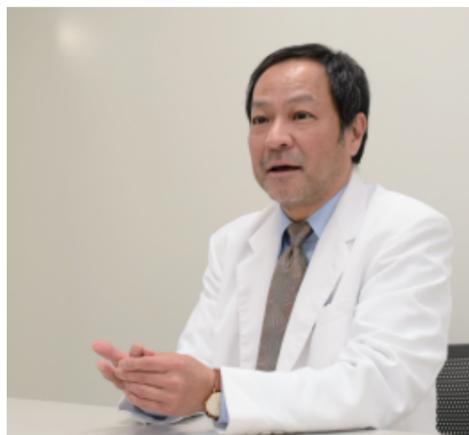
辻 平成28年に西宮協立リハビリテーション病院院長を拝命して以降、急性期病院で身につけた考え方は違わぬ視線で医療・介護を捉えるようになりまし。病院理念である「ふたたび自分らしく生き生きと暮らすように」はまさにこれからの高齢化社会に必要な考え方だと思えます。患者さんが住み慣れた場所に戻っていただけるよう、阪神西宮地域の医療・介護・福祉の知恵と力、総



動員の時代がやって来ると感じます。

三宅 脳神経外科病院は、従来通り高度急性期病院としての責務を果たしていきます。救急医療の集約化、大病院志向が模索されているように感じますが、都会と地方では状況が大きく異なり、都会における安易な集約化は救急医療の崩壊に繋がりがかねない危険をはらんでいると思えます。脳神経外科手術383件、整形外科手術1595件、救急搬入件数を4055台という当院の実績は、高度急性期病院の条件に適うものと思っています。また、ガイドラインばやりの昨今ですが、ガイドラインを遵守するだけで医療の発展は望めません。我々は専門領域に関してはチャレンジングな姿勢を持ち続けたいと思います。そして、積極的な学会発表を通じて、いつかガイドラインとなるような実績を積み上げていきます。山椒は小粒でもピリリと辛い、そんな病院を目指します。

大村 皆さんもご存知のように、これからの10年、西宮市でも高齢者がさらに増加し、それに伴って高齢者を中心とした救急医療の需要は増加していきます。この状況を踏まえ、甲友会が目指すのは、急性期の受け



入れから在宅医療・介護まで法人一体となり取り組んでいくことです。後遺症や障がいのある方には、その容体に合わせた二貫して良質なリハビリテーション提供体制を作り上げ、地域リハビリテーションの中核となることを目指します。また、訪問看護・介護、通所リハビリといった在宅療養生活へと導くためのADL（日常生活動作）の維持・向上を重視し、少しでも幸せで満足感のある生活を送ってもらえるよう心をこめた医療・介護サービスを提供したいと考えています。待たなしにどんどん変化していく状況を先取りし、地域の皆さまの健康で幸せな暮らしに貢献できるように、これからも法人一体となって柔軟に対応してまいります。

*平成29年、1年間の実績です（脳神経外科手術件数、整形外科手術件数、救急搬入件数）

ウェルウォークとは？

ウェルウォークは人に装着し歩行をアシストする装着型のロボットです。近年、リハビリテーション医療の中では工業系の発展と共にさまざまなロボットが開発されました。ウェルウォークはトレッタドミル、正面モニター、脚免荷ハーネス（脚の損傷部分に体重をかけるようにする安全ベルト）、転倒防止ハーネス、操作パネル、そして足に装着する長下肢型のロボット本体からなります。患者さんはロボット脚を装着して療法士と一緒に歩行訓練を行います。

理論的な背景について

ウェルウォークは片麻痺患者さんの歩行練習に特化しており、運動学習理論に基づいた設計となっています。歩けない人が歩けるようになるためには歩く練習をする必要がありますが、これは足に麻痺があるために歩けない状態でも同様です。麻痺をできるだけ改善させて、歩けるようになるための練習が必要となります。

期待できる効果とは？

先行研究では、ウェルウォークを使用すると「歩行自立までの期間が従来の運動療法よりも短くなる」という点が明らかになっており、さらに私見ではありますがキレイに歩くことが達成できると考えています。この新たなロボットリハビリテーションの導入はリハビリテーション医療に大きな変革をもたらし、より質の高いリハビリテーション医療を提供できると考えています。

ウェルウォークでの歩行練習はこれまでの運動学習理論に基づいた一般的な治療をさらに発展させたものになります。重度の片麻痺患者さんであってもロボット脚とハーネスによって安全に歩行練習が可能となり、歩行の絶対量が長くなります。またロボット脚や脚免荷ハーネスでの補助は調整が可能で、歩行課題の難易度を調整することができます。さまざまなフィードバックする機能もついているためスムーズな動作学習が可能です。



甲友会からのお知らせ

KOYUKAI INFORMATION

西宮協立脳神経外科病院

◇平成 29 年 11 月 8 日 (水) 第 7 回糖尿病フェスタ「骨と糖尿病多いに関係あり！」が開催されました。テーマに沿った各職種の講話や料理、お土産をご用意し毎回楽しい時間を過ごせたと好評をいただいております。本年も秋頃の開催を予定しております。



◇第 13 回キッズトライアル西宮協立を 2 月 18 日 (日) に開催いたしました。多数のご応募とご参加ありがとうございました。次回、第 14 回キッズトライアル西宮協立は 8 月 19 日 (日) 開催予定です。



- ・ホームページにて 6 月 4 日 (月) から募集開始予定
- ・メールにて受付 ※定員に達し次第募集終了となります

※写真は平成 29 年 8 月 20 日実施のものです

キッズトライアル西宮協立

西宮協立リハビリテーション病院

第 32 回市民健康介護講座 開催

日時：3 月 13 日 (火) 13：45～15：15

テーマ：脳卒中の予防

講師：医師 遠藤 透 (脳神経外科)

テーマ：知っているようで知らない体の使い方

講師：作業療法士 渡邊 康子 (リハビリテーション部)

場所：西宮協立リハビリテーション病院 7 階会議室

定員：40 名

申込み：病院受付またはお電話にて (0798-75-3000)

甲友会

◇お役立ち情報ブログ 甲友会フレンズ

ホームページでは、お役立ち情報ブログ「甲友会フレンズ」を随時更新中。ぜひチェックしてみてください。

スマートフォンからもご覧いただけます。
<http://www.nk-hospital.or.jp/friends/>

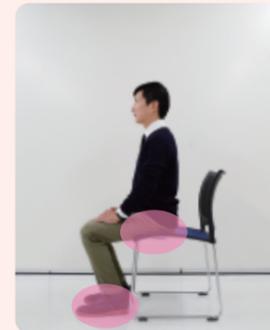


健康大好き!

立ち上がり動作のポイント

西宮協立訪問看護センター 理学療法士 春井 幸太

「去年まではできていたのに……」。歳を重ねると、若い時に当たり前だったことが、むずかしくなる場合があります。今回は「立ち上がり」をご紹介します。立ち上がり動作は、座っている状態から立つ状態に至るまでの、つなぎの動きです。また、日常生活では「立つ」「歩く」ための準備動作といえる重要な動きです。立ち上がりのポイントを知ることによって、「立つ」「歩く」が円滑に行えるようになります。ポイントを意識することで、転倒を予防することにもつながります。予防は健康への第一歩。当たり前の動作を見なおしてみましょう!



- 浅く座る
- 足を椅子に近づける



- 頭が足の上にくるまで体を前屈
- お尻が少し浮く程度



- 上に向かって立つ
- 太もも前とお尻に力を入れる



- 足を伸ばす

自宅でできる!

かんたん エクササイズ



肩こり解消

エクササイズ

人間の背骨は、重い頭を支えながら二足歩行をするために緩やかな S 字カーブを描いています。その姿勢を保つため首と背中周辺の周囲には色々な筋肉があり、複雑にバランスを取り合っています。このバランスがさまざまな原因により崩れると筋肉に負担がかかり緊張が続くため、疲労物質がたまって固くなり痛みを引き起こします。これが肩こりです。

西宮協立デイケアセンターほほえみ 理学療法士 瓜谷 いず美

肩こりの原因は生活習慣からくる姿勢の乱れや冷え、五十肩などの関節疾患、心筋梗塞などさまざまな原因があります。ここでは、生活習慣の改善や運動により予防できる方法をご紹介します。

1. 正しい姿勢を習慣づけましょう!

背骨を意識しながら正しい姿勢を保ちましょう。楽なねこ背になりがちですが、その姿勢で前を見ようとするとお腹を持ち上げるため、首や肩回りに負担がかかります。



2. 運動で筋力アップ! ストレッチも効果的です!

肩回りの筋肉を動かすことで血行が改善されます。肩甲骨周囲にはたくさんの筋肉がついており、これらをほぐす運動をすることで肩こりの改善が期待できます。



くすりのあしたを考える。
東和薬品



オフィス創りの総合商社
文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具

どんなことでも **NIKKO** へ!

ココヨ製品取扱高全国 No.1

株式会社 **日興商会**



●本社 〒660-0892 尼崎市東難波町5丁目10番30号 Tel.06-6487-1401 Fax.06-6487-1414
●本社印刷工場 〒660-0805 尼崎市西長洲町2丁目2番18号 Tel.06-6482-3301 Fax.06-6482-4430
●支店 大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島 他 ホームページ <https://nikko.bunguclub.co.jp>

PRO+ medical | プロメディカル株式会社
関西営業所
〒663-8126 兵庫県西宮市小松北町1丁目1-30
Tel.0798-31-0888 Fax.0798-31-0884
<http://promedi.co.jp/>

- 事業内容 医療材料 / 医療機器 各種病院設備機器 / メンテナンス リハビリ機器 / 開業支援 手術用器械など
- M.A.Laboratory 医療機器の製造販売 研究開発 / 薬事業務

安全と医療機器をとともお届けします

ISO 9001 認証登録

YAYOI Corporation

医療機器・病院設備全般・SPDシステム
血管内治療用デバイス・整形外科関連製品
内視鏡関連製品・透析関連製品・ME機器管理

株式会社 **やよい**

本社 / 〒670-0936
兵庫県姫路市古二階町3番地
Tel:079-224-5151 Fax:079-224-2024

